

遊歩道作成と森の管理

山林整備の経緯

約10年前から、両親と一歩先が見えない荒れ果てた山林の整備に取り組む。数万本の孟宗竹が繁茂し、自然の猛威と戦い始める。

面積が広いため、終わりのない、先の見えない人と自然の係りが始まる。丁度、里山づくりが世間でブーム?になってきたが、そう思うほど簡単ではない。重機も使用し、現在では管理をする道が、遊歩道になり歩いて一周できる散策路になった。自然を壊さないように、枕木で橋を架けたりして中心部に小さなログハウスも設置。樹木や山野草にも、名前を刻印し歩きながら樹の特性が解るように設置。



森の中央部に案内板の設置



遊歩道は、三種類のコースを作り、それぞれ変化にとんだ自然の中を、散策できるようにした。樹木の名前については、木更津市の石井さんに協力して頂き、大変感謝をしている。



木の看板作成設置

樹木の種類が多いため、歩きながら木や山野草の名前が解るよう案内板や木の名前を作成し設置した。

現在は、仕事の合間を見て山に入るが、湧水周辺の整備や、さらに休む場所や歩きやすい遊歩道の計画で、たった一人では、まだまだ時間を要する。場所は木更津市の奥座敷、とある処です。

活動開始	会員数	活動日・回数	主な活動場所	連絡先
				木更津市真里谷 棚倉 英雄 090-3334-0435